

明日の豊かさを
デザインする



電気パネルヒータ 保証書

(保証期間 2年間)

(型式)	(お買上げ年月日)
(製造番号)	平成 年 月 日
(お買上げ店名)	お客さま (ご住所)
	(お名前)

1. お買上げになった日の翌日から起算して、暖房ヒータは3年間、その他の電気部品や他の機能部品は2年間無償で故障部品の修理と交換を致します。
製造上の欠陥により故障のあった場合には、無償で故障部品の修理と交換を致します。
※交換部品の供給可能期間は、生産中止後10年間とします。
2. 次の場合は保証期間内であっても保証の責任を負いません。
○誤った使用をされた場合
○不当な修理及び改造をされた場合
○地震、火災、その他天災によって生じた故障あるいは損傷
○保証書のご提示がない場合
3. 修理、交換後の保証期間は(1)の残りの期間と致します。
4. 故障が生じた場合には、お買上げ店又は当社までご連絡下さい。
尚、離島及び離島に準じる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費を申し受けます。

明日の豊かさをデザインする

 北海道電機株式会社

本社・奈井江工場 〒079-0304 北海道空知郡奈井江町字奈井江776番地
TEL 0125(65)6155 FAX 0125(65)6144
札幌支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8丁目2番地
TEL 011(221)7789 FAX 011(221)7811
北陸営業所 〒939-8211 富山市二口町1丁目14-4
TEL 076(494)3113 FAX 076(494)2330
ホームページ <http://www.hokkaido-denki.co.jp>
お問い合わせフリーダイヤル 0120-881-935

電気パネルヒータ PHNシリーズ

取扱・据付説明書

★この度は、PHNシリーズをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

★お使いになる前に、必ずこの取扱・据付説明書をよくお読みください。

★お読みになった後は、大切に保存してください。

目 次

【1】 使用上の注意事項	1
【2】 「PHNシリーズ」の仕組みと特徴	2
【3】 構造と各部の名称	2
【4】 操作部の名前と働き	3
【5】 操作方法	3
【6】 日常の点検とお手入れ	4
【7】 故障かな？と思ったら	4
【8】 設置方法	
8-1. 設置時の注意事項	5
8-2. 電源線の接続	5
8-3. 本体の固定	6
【9】 補足説明	
9-1. 安全装置	7
9-2. 電気回路図	7
【10】 アフターサービスについて	8
【11】 標準仕様	9

11 標準仕様

項 目		PHN-500	PHN-740	PHN-1000
暖房能力	連続通電時	0.50kW/h (430kcal/h)	0.74kW/h (636kcal/h)	1.00kW/h (860kcal/h)
定格容量	単相200V	0.5kW	0.74kW	1kW
形状	横 幅	420mm		
	高 さ	460mm		
	奥 行	120mm(壁固定金具含む)		
重量	本 体	5.7kg	6.0kg	6.3kg
制 御	暖房運転	「入・切」切換スイッチ		
	室内温度	10～30℃無段階設定		
安全装置		○温度ヒューズ		○自動復帰型 温度過昇防止器 ○温度ヒューズ
本体カラー		標準色：アイボリー系 オプション色：ゴールド系 シルバー系		

10 アフターサービスについて

- ①この商品の保証書は、裏面に添付しております。
保証書は必ず「買い上げ年月日」と販売店名等、所定事項をご確認の上、大切に保管してください。
- ②保証期間中（2年）に修理を依頼される時は、お買い上げの販売店又は当社までご連絡ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- ③保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。有償で修理いたします。
- ④お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にやめてください。大変危険です。
- ⑤修理などアフターサービスについてご不明な点、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

⚠ 注意 1 注意事項

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

分解したり修理・改造は絶対しないでください。



発火、感電、やけどの原因となります。
(修理は販売店または当社へご相談ください。)

暖房器の周辺にスプレー缶（ベンジン等の引火物）及び燃えやすいものを置かないでください。

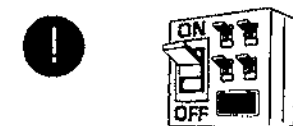


(火災の原因となります。)

乳幼児や身体の不自由な方は、付き添えなしでは使用しないでください。また、暖房器には近づかせないでください。



ブレーカは定格容量（アンペア）以上のものを使用してください。



アース線は必ず接続してください。



(取り付けられていないと、感電や故障の原因となります。)

点検や修理の時は、必ずブレーカを「切り」にしてください。



(感電の恐れがあります。)

次の様なことはしないでください。
やけど、感電、火災、故障の原因になります。

吹出口をさわる



水をかける



吹出口をふさぐ



物をのせる



物を入れる



吸込口をふさぐ



すわる



分解する

2 「PHNシリーズ」の仕組みと特徴

「PHNシリーズ」は、200V電源を利用し暖房を行なう、自然対流型電気パネルヒータです。

火を使わないので、室内の空気を汚さない、安全でクリーンな暖房器です。

電気エネルギーだから、とても安心

熱源は電気エネルギー。燃料切れや燃料漏れ等による火災などの心配がありません。空気を汚さないでおやすみ時も安心です。

お部屋を選ばないデザイン

前面に丸みを施した形状です。どこにでも、設置できるデザインです。

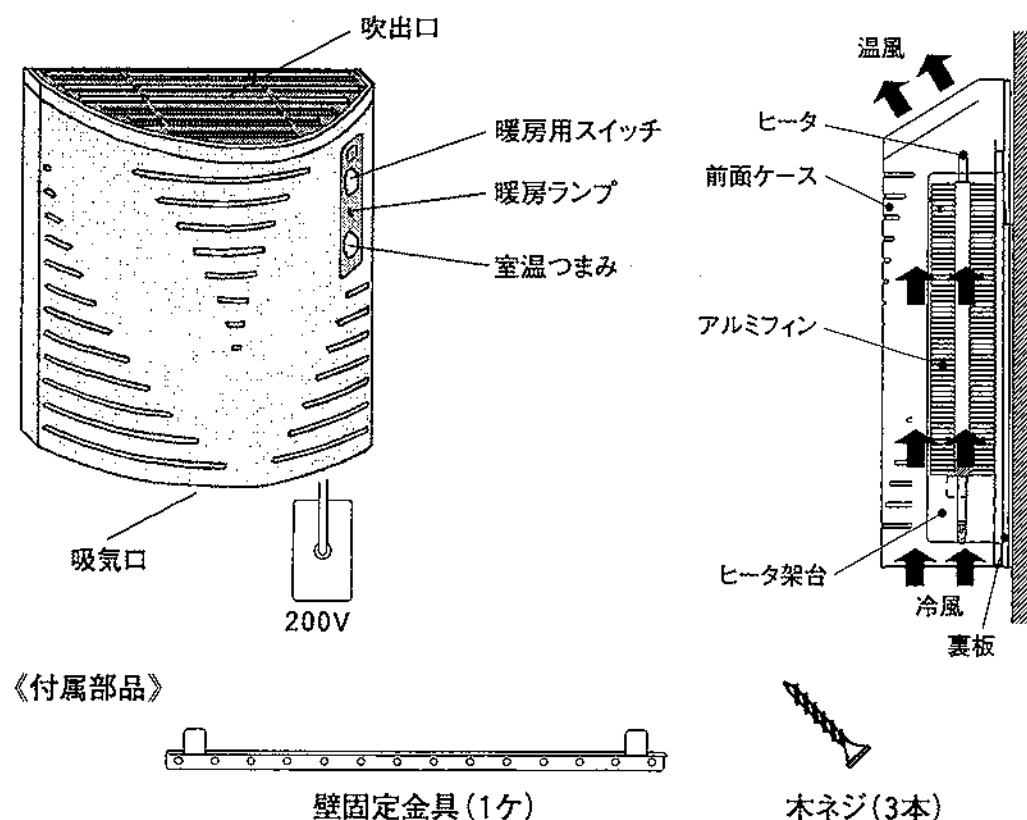
カンタン操作で使いやすい

操作部が、前面にあるのでわかりやすく、誰にでも操作できます。

カラーオプションで好きな色に

3色から選べる、カラーバリエーションをご用意しています。

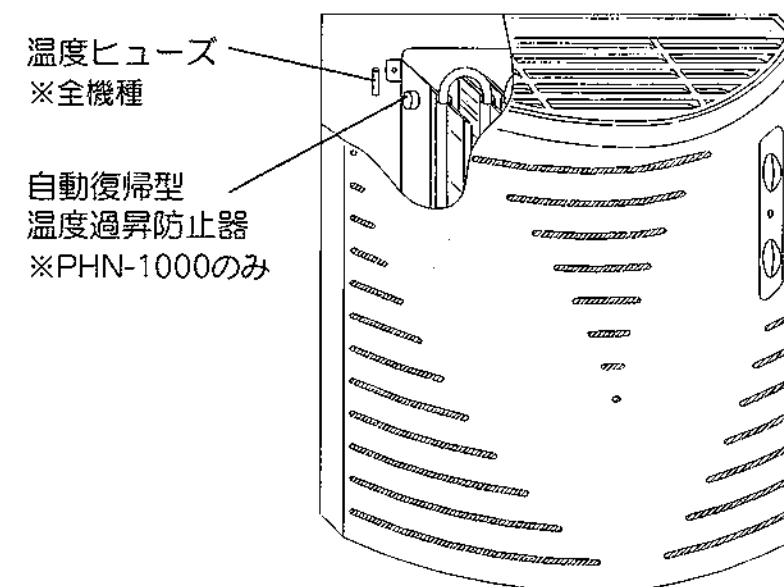
3 構造と各部の名称



9 補足説明

9-1 安全装置

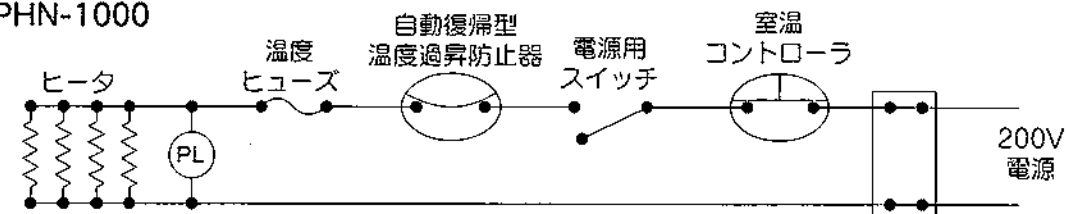
本器には、以下の安全装置を装備しています。



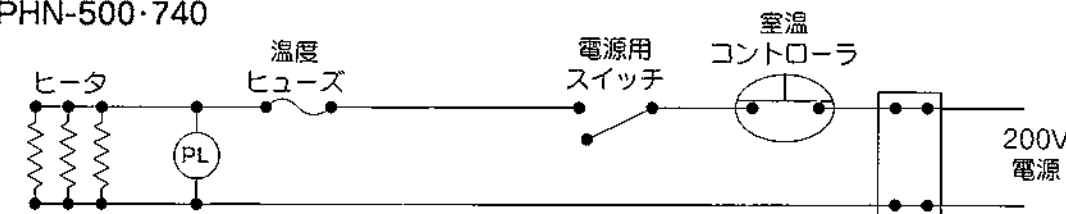
安全装置	機種	動作条件	制御内容	復帰方法
自動復帰型 温度過昇防止器	PHN-1000	110℃	通電停止	自動復帰
温度ヒューズ	PHN-500/740	132℃	通電停止	前面パネルを外し部品交換
	PHN-1000	154℃		

9-2 電気回路図

PHN-1000



PHN-500・740

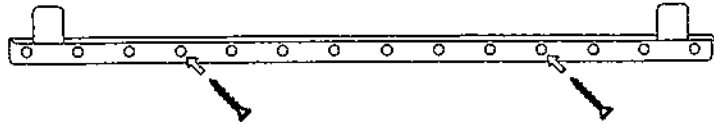


- ※1. PHN-500ヒータ数量：2本
- ※2. PHN-740ヒータ数量：3本

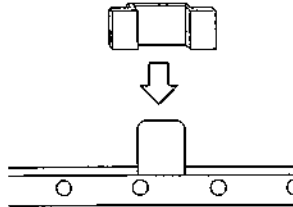
4 操作部の名前と働き

8-3 本体の固定

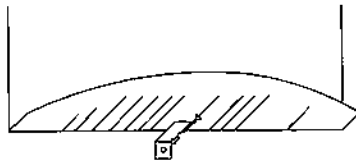
①木ねじを使用し壁固定金具を、壁に固定します。



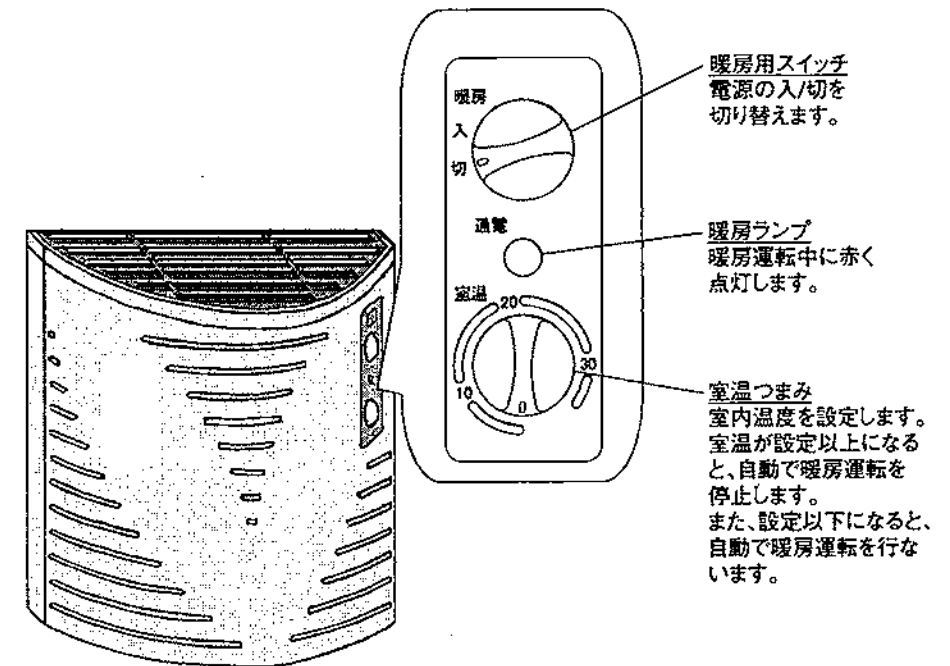
②①で壁に固定した金具に本体裏側の引掛け金具を差し込み本体を壁に掛けます。



③本体下側にある金具で壁と本体を固定します。



△ 注意 本体取付作業では、前面パネルを外す必要はありません。
品質維持のために前面パネルは外さないでください。

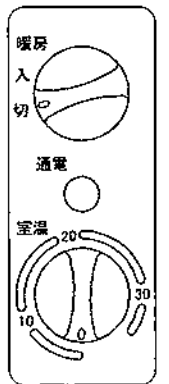


5 操作方法

5-1 暖房運転

- ①200Vブレーカを入れてください。
- ②電源用スイッチを「入」にして下さい。
- ③室温つまみで、室温設定を10℃～30℃の間で設定できます。
室温を設定温度に保つよう、自動でヒータを「入」「切」します。
※暖房中は通電ランプが赤く点灯します。

△ 注意 ・ 設置するお部屋の広さより、暖房容量が小さい場合は、ヒータが入り続けることがあります。
ヒータの寿命が短くなることがあります。
・ 室温センサの室温を検知する部分は、本体の下側に取り付けられています。
暖房器の設定温度とお部屋の温度が一致しない場合があります。
温度表示の目盛りは、室温設定の目安としてご利用ください。



5-2 暖房運転の停止

- 電源用スイッチ又は室温設定を「切」にして下さい。
- ※長期間停止する場合は、電源用スイッチ、室温設定を「切」にあわせその後200Vブレーカを「切」にして下さい。

6 日常の点検とお手入れ

①電気パネルヒータの清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- △ 注意
- ・暖房器には水をかけないで下さい。
 - ・ベンジンやシンナー等は塗装を傷めますので、使用しないで下さい。
 - ・お手入れは、200Vブレーカを「切」にしてから行なってください。

②吹出口や吸気口のお手入れは、掃除機でほこり等を定期的に取り除いてください。

- △ 注意
- ・お手入れは、200Vブレーカを「切」にしてから行なってください。
 - ・パネルヒータが完全に冷えた状態で行なってください。

7 故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対処方法
お部屋が暖まらない	200Vブレーカが「入」になっていませんか？	200Vブレーカを「入」にする。
	暖房用スイッチが「入」になっていませんか？	暖房用スイッチを「入」にする。
	室温設定が、室温より高く設定されていますか？	室温設定を高くする。
通電ランプが点灯しない	200Vブレーカが「入」になっていませんか？	200Vブレーカを「入」にする。
	暖房用スイッチが「入」になっていませんか？	暖房用スイッチを「入」にする。
わずかに、においや煙が出る	初めてのご使用ですか？	初めてご使用する場合、ヒータについた油が蒸発し、わずかに、においや煙が出る場合があります。窓を開けて空気の入れ換えをして下さい。
	長期間、使用していませんでしたか？	シーズン初めのご使用の場合、それまでにつもったほこり等が対流してわずかに、においが出る場合があります。

こんな場合は、故障ではありません。

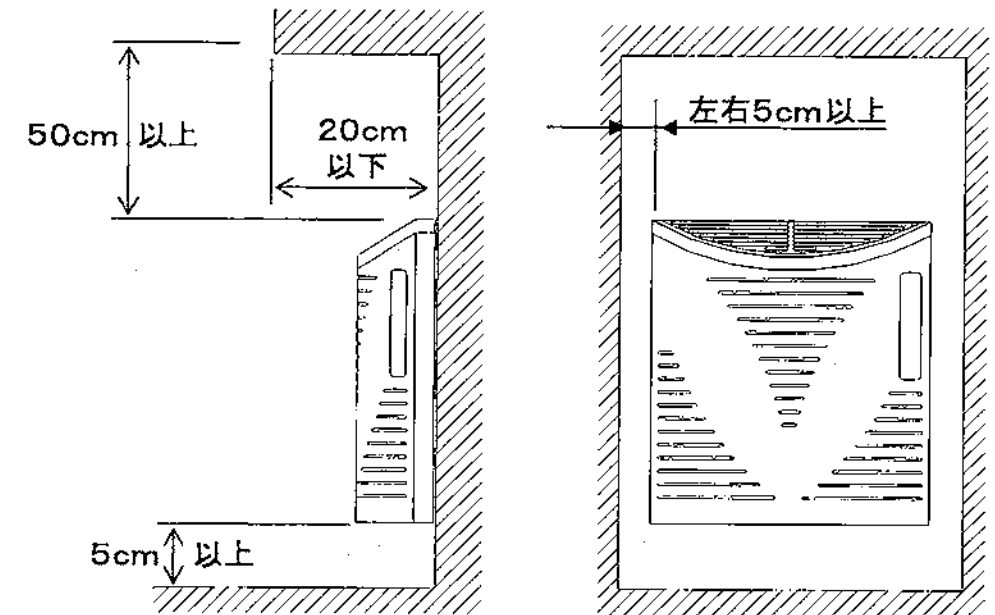
症 状	対処方法
パネルヒータは、正常に動作しているがお部屋が暖まらない。	お部屋の大きさと、暖房器の容量があっていないと思われます。窓や戸を閉めて、暖房運転を行なってください。建物やお部屋が完全に冷えている場合は、温まるまで数日かかることがあります。
本体からときどき「カチッ」と音が出る。	室温センサが、ヒータの入・切を制御している音です。

8 設置方法

8-1 設置時の注意事項

※電気工事店様への注意事項

①所定の離隔を取った状態で設置してください。



②本体は、必ず壁に取り付けてご使用ください。

③電気配線は、必ず本体付属の耐熱ケーブルをご使用ください。

④補強板等が敷設されていない場合は、ボードアンカ等を使用し確実に固定してください。

⑤水が直接かかる場所には、使用できません。

8-2 電源線の接続

※電気工事店様へのお願い

①電気工事には、電気工事士の資格が必要です。
資格のある方が、電源線の接続を行なってください。

②アースは、緑と黄色、又は緑のケーブルを使用します。
充電部には、絶対に接続しないでください。

③過電流ブレーカの他に、漏電ブレーカを各暖房器に1台取り付けてください。